

## ソファラ州において多発する襲撃事件にかかる注意喚起

平成25年6月27日  
在モザンビーク日本国大使館

在留邦人の皆様

1. 6月17日未明、モザンビークのソファラ州ドンド郡サヴァネにて、国防軍武器・火薬庫が何者かに襲撃され、国防軍7人が殺害、多数の武器が強奪される事案が発生しました。また、同21日未明、国道1号線沿いのマシャンガにてトラック及び乗合バスが武装集団に襲撃され2人が死亡、数人が負傷する事案が発生しました。

2. これらの事案の背景や襲撃したとされる武装集団の詳細については不明ですが、ソファラ州では、元反政府組織で現在はモザンビーク野党のモザンビーク民族抵抗運動（以下、レナモ党）が20日より同州南部国道1号線ムシングエ・サヴェ間及び鉄道ベイラ・モアティーゼ間、ベイラ・マロメウ間の封鎖を示唆しています。レナモ党党首によると、この封鎖の目的は、同党が本部を置く同州中部への政府による武器及び軍隊の輸送を阻止するためとの声明が発表されています。レナモ党の挑発的な動きが活発になっており、上記1. の事案をレナモ党の仕業であるとする報道もみられます。

3. つきましては、今後も同様の事案が発生する可能性もありますので、ソファラ州に渡航・滞在を検討している方及び既に滞在中の方は、引き続き報道や在モザンビーク日本国大使館等から最新の情報を入手し、襲撃等に巻き込まれないように十分注意してください。また、国道1号線の関連地域の夜間・早朝通行は控える等十分な注意を払う事をお勧めします。

在モザンビーク日本国大使館

TEL： 21-499819/20（土日祝日を除く8:00～17:00）  
84-4171150（土日祝日）